



のうりん すいさんしょう
農林水産省

のうりん すいさんせいさくけんきゅうしょ

農林水産政策研究所

住所 東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎4号館
TEL 03-6737-9000 FAX 03-6737-9600
ホームページ <http://www.maff.go.jp/primaff/>



何をやっているところでしょか

農 林水産政策研究所では、

- ①国民のみなさんが、安全な食べ物をいつでも食べられるように
 - ②安心して農業・林業・漁業の仕事が続けられるように
 - ③農村・山村・漁村が美しい自然を守りながら、いっそう発展していくように
- 研究をしています。



安全な食べ物



美しい自然“たな田”



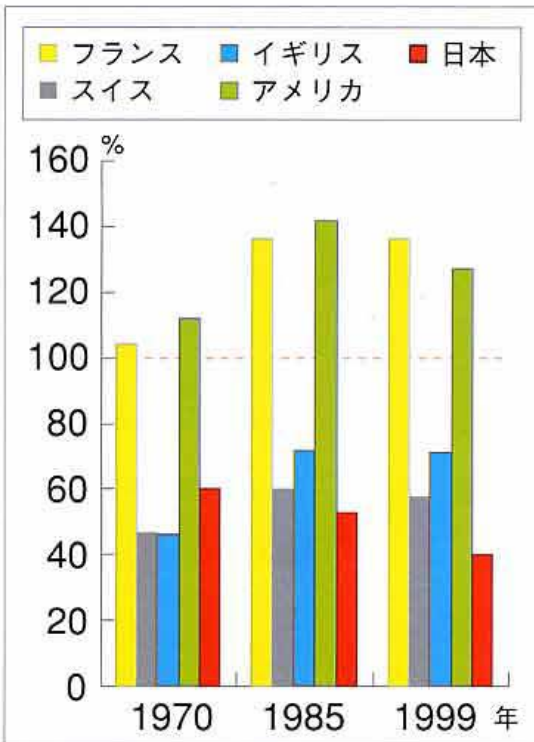
機械化された農作業



どのような研究があるものでしょか？

- ①世界中で作られる食べ物の量と食べる量がこれからどのようにかわっていくのかをよそくしています。
- ②最近、農業をやる人が少なくなっていますので、その理由は何なのか、どうすればよいのか、などの研究をしています。
- ③外国も農業を活発にするためにいろいろな努力をしていますので、その様子を調べて日本でも役立てられるようにしています。
- ④農業・農村は、食べ物を作るだけでなく、自然かんきょうを守ったり、こう水をふせいだりするなどのいろいろな役わりを持っています。その役わりがどれほど大切なものかをはっきりとさせるための研究をしています。

（ 各国の自給率の変化 ）



注. 供給熱量自給率

日本の自給率は、主な先進国の中で最低です。日本の自給率は、年々下がってきています。これは、わたしたちの食事の中身がかわってきたためです。国内でとれる米を食べなくなったことや、肉などをよく食べるようになり、家ちくのエサになるトウモロコシなどの輸入が非常にふえたことが大きな原因です。

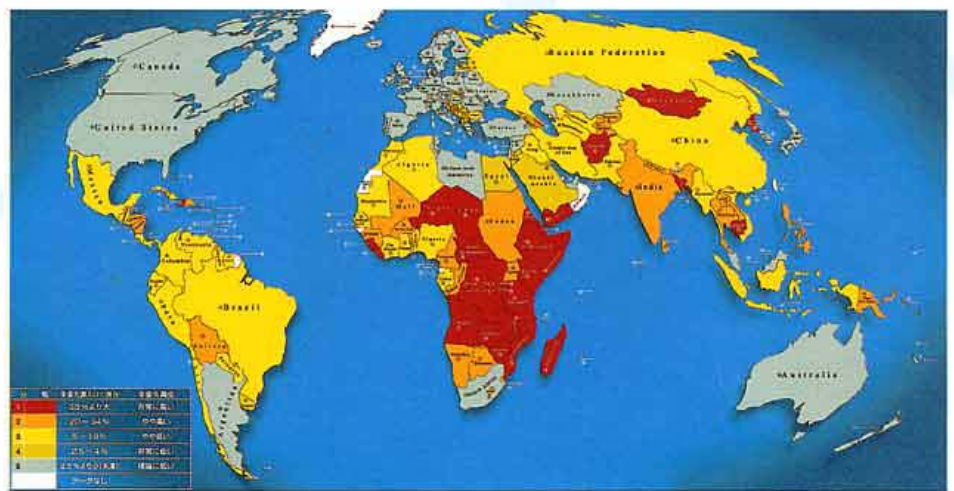
自給率とは
その国の人や家ちくが食べる米、麦、トウモロコシ、大豆などが自分の国でどれくらいとれるかを表す値です。この値が小さいほど、外国からたくさん輸入していることになります。

（ 栄養不足人口の様子 ）

世界では、いま、7人に1人が栄養不足に苦しんでいます。

現在の世界の人口は約61億人です。そのうち約8億人の人が栄養不足に苦しんでいます。

カメルーンやセネガルをふくむサハラ以南アフリカでは、3人に1人が栄養不足の状態にあります。



資料：国際連合世界食糧計画「ハンガーマップ」

将来、世界の人口はますますふえるといわれています。

そのため、世界中で必要な食料の量も大きくふえ、将来は世界の食料が足りなくなるかも知れません。そうすると、必要な食料をいつまでも輸入できるとはかぎりません。

ですから、日本では、「自分たちの食料はできるだけ自分たちで作る」ように努力したり、米などの日本でたくさん作られている食べ物をしっかり食べるようにしたり、食べ残しを少なくしたりすることが必要です。食料の輸入をへらすことは、世界中の飢えに苦しむ人を助けることにもつながります。